

ワイルドウォーターカヌー

2009年 競技ルールにおける改訂条文一覧 (赤字部分が変更点)

★競技の名称が "Wildwater Racing"(ワイルドウォーター競技) から "**Wildwater Canoeing**"(ワイルドウォーターカヌー) に変更され、今後、競技ルール、ICF 定款、出版物などではすべてこの名称が使用される。

これにともない、"IJWW" (ワイルドウォーター国際審判)、"WWC" (ワイルドウォーター競技委員会) の表記が、"**IJWWC**" (ワイルドウォーターカヌー国際審判)、"**WWCC**" (ワイルドウォーターカヌー委員会) にそれぞれ変更された。

4.1 国を代表する連盟にかぎり、国際競技大会日程に加える大会の申請をおこなうことができる。ただし、**ICF に加盟する連盟**にのみこの申請が許される。

* 「ICF 会費を完納した連盟」という条件が削除された。

07年=国を代表する連盟にかぎり、国際競技大会日程に加えるべき大会の申請をおこなうことができる。ただし、ICF 加盟メンバーのうち、ICF 会費を完納した連盟のみがこの申請を許される。

18.2 すべての選手は、以下の条項で規定されるようなきっちりした安全ヘルメット、ライフジャケット (浮力補助装備) を着用し、**シューズを履かなければならない**。

* 新たに**シューズの着用が義務づけられた**。

18.2.3 選手はすべて**シューズを履く義務があり、靴底は足を保護するに十分な厚さでなければならない**。シューズは、選手が転覆したり、脱艇した際にも脱げないように足にフィットするものでなければならない。

* この条項新設。

21.3 静止状態からのスタート以外は認められない。スタートは音響による合図で指示される。チームレースでは、**第2、第3のボートは第1のボートによる計時が始まる瞬間まで静止していなければならない (確保されていることが望ましい)**。いかなる場合でも、スターターの権限による指示はすべて守らなければならない。

* この条項削除。その内容を分割し、新たな規定を加えて下記3項目 (21.3.1/21.3.2/21.3.3) が新設された。

21.3.1 静止状態からのスタート以外は認められない。スタートは音響による合図で指示される。

* この条項新設。

21.3.2 チームレースでは、すべてのボートが音響による合図で保持された状態から解放(リリース)される。チームの全選手はリリースの瞬間から**10秒以内にスタートラインを通過しなければならない**。

スタートライン通過の定義 : ゲートが使用される場合はそのゲートを通過すること。川を横切る赤外線を使用する場合は光電管装置を結ぶラインを通過することを意味する。

* この条項新設。この条項では、特に「全選手がリリースの瞬間から**10秒以内にゲートラインを通過すること**」という新たな規定が目される。

21.3.3 いかなる場合でも、スターターの権限による指示はすべて守らなければならない。

* この条項新設。

24.3 チーム競技の場合は、**3艇すべてが10秒以内**にフィニッシュラインを通過しなければならない

ない。

* 「15 秒以内」を変更。

35.6 チーム競技においては、10 秒以内に 3 艇すべてがフィニッシュラインを通過できなかった場合はラン失格となる。

* 「15 秒以内」を変更。

36.6.1.1 参加申し込みは、ICF 会員連盟によるもののみ受理される。

* 「ICF 会費を完納した連盟」という条件が削除された。

07 年=国を代表する連盟にかぎり、国際競技大会日程に加えるべき大会の申請をおこなうことができる。また、ICF 加盟メンバーのうち、ICF 会費を完納した連盟のみがこの申請を許される。

36.8 スタート順位（ノンストップ・トレーニングの場合のみ）（細則）

（ルール 13.1 項を参照せよ）。

選手は最新のワールドランキングの逆順でスタートする。ワールドランキング入りしていない選手はそのカテゴリーの最初にスタートする。

* この条項を削除。

36.9.1 審議委員会（本則）

世界選手権大会開催中は、審議委員会が最高の権限を有する。審議委員会は最大 5 人の役員で構成され、これらの委員は ICF 理事会によって指名される。審議委員会メンバーのうち 1 名が指名され、委員長に就任する。チーフオフィシャルならびに他の部門の役員は、審議委員会に従属するものとする。

* 「ICF 会長あるいは他の ICF メンバーのいずれかが委員のなかから指名されて委員長に就任する」を訂正。

07 年=世界選手権大会開催中は、審議委員会が最高の権限を有する。審議委員会は最大 5 人の役員で構成され、これらの委員は ICF 理事会によって指名される。ICF 会長あるいは他の ICF メンバーのいずれかが 1 名が委員のなかから指名され、審議委員会委員長に就任する。チーフ・オフィシャルならびに他の部門の役員は、審議委員会に従属するものとする。

37.5.1 世界ジュニア選手権大会のコースは、ワイルドウォーターカヌー・クラシックのコースとワイルドウォーターカヌー・スプリントのコースからなるものである。クラシック・チームレースはクラシックコースで実施される。クラシックコースの範囲内に、新たなスタートとフィニッシュ地点を設けてより短いコースを設定することができる。スプリント・チームレースはスプリントコースで実施される。クラシックレースはスプリントレースの前に実施する。

* この記述が追加される。

07 年=世界ジュニア選手権大会のコースは、ワイルドウォーター・クラシックのコースとワイルドウォーター・スプリントのコースからなるものである。クラシック・チームレースはクラシック・コースで実施される。クラシック・コースの範囲内に、新たなスタートとフィニッシュ地点を設けてより短いコースを設定することができる。スプリント・チームレースはスプリント・コースで実施される。

37.5.2 世界ジュニア選手権大会におけるクラシック競技のノンストップ・トレーニングは、前回の世界ジュニア選手権大会において連盟が獲得したクラシック競技の成績順位を逆にして、スタート順位を決定する。前回の選手権大会に参加しなかった連盟にはいちばん早いスタート順位が与えられる。したがって、各連盟が提出する申し込み書には、主催者がスタート順位を正しく割りあてることができるよう、連盟の [クラシック競技における] 各カテゴリーのランキングを明記しなければならない。

スプリント競技のスタート順位はその前に実施されたクラシック競技の成績の逆の順序とし、クラシックレースに参加しなかった連盟にはいちばん早いスタート順位が与えられる。チーム競技のスタート順位は世界シニア選手権大会の方式に準ずるものとする。

*今回の改訂で、ノンストップ・トレーニングのスタート順位を決定する規定の対象からスプリント競技が除外され、新たにスプリント競技のスタート順位に関する記述が加わえられた。論理的に考えて、スプリント競技のノンストップ・トレーニングのスタート順位についても追加されたこの規定が適用され、クラシック競技の成績の逆順となるものと解釈する。

07年=ワイルドウォーター世界ジュニア選手権大会におけるスプリントレースおよびクラシックレースのノンストップ・トレーニングは、前回の世界ジュニア選手権大会において連盟が獲得したスプリント種目およびクラシック種目それぞれの成績順位を逆にして、スタート順位を決定する。前回の選手権大会に参加しなかった連盟にはいちばん早いスタート順位が与えられる。したがって、各連盟が提出する申し込み書には、主催者がスタート順位を正しく割りあてることができるよう、連盟の各競技種目[原文="category"]におけるランキングを明記しなければならない。チーム種目のスタート順位は世界シニア選手権大会の方式に準ずるものとする。

38.2.1 ワールドカップ大会開催を希望する国の連盟は、その大会が開催される前々年の9月1日までに、ワイルドウォーターカヌー委員会委員長に対し立候補の申し出をしなければならない。ICFが主管する大会(世界選手権大会およびワールドカップ大会)の日程は、前年の1月1日に公表される。

*大会開催の申請期限が前年の3月1日から前々年の9月1日に変更され、ICF大会の日程に関する記述が新たに加えられた。

07年=ワールドカップ大会開催を希望する国の連盟は、大会開催前年の3月1日までに、ICFワイルドウォーター競技委員会委員長に対し立候補の申し出をしなければならない。

訳責=有渡豊

ICFワイルドウォーターカヌー競技ルールはICFによって公開された英文表記の文書が唯一有効で公的な原典であり、したがって、この文書はあくまでもその原典を理解するための参考資料にとどまるものであることを付記します。